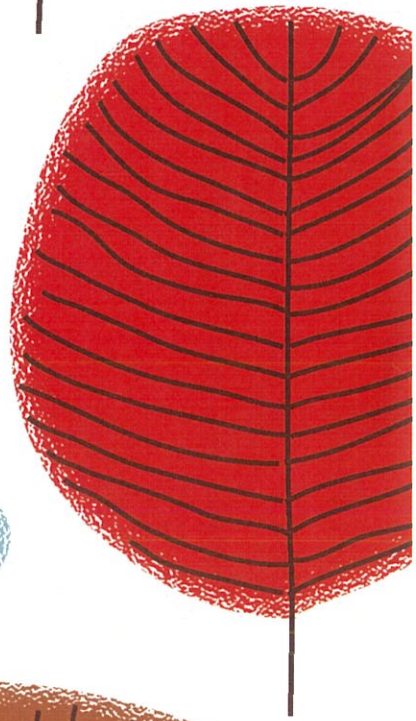
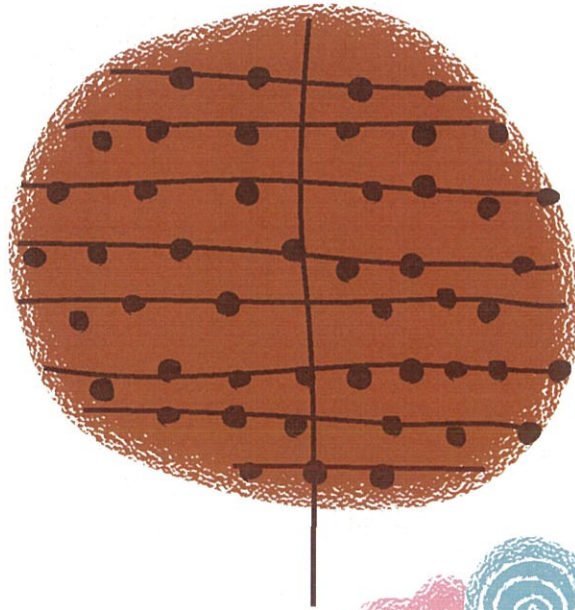


社会福祉法人 種の会 アルテ子どもと木幼稚園

〒164-0001 中野区中野 1-59-5

Tel 03-3365-0602

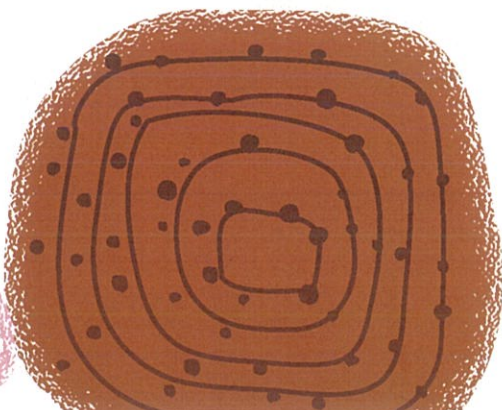
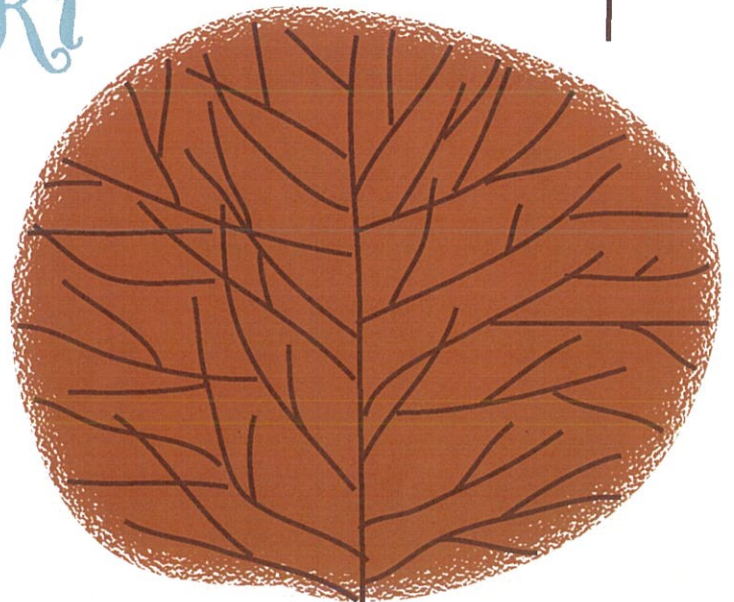
ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>



ArteKodomotoki



えんどうより





## お知らせ

- 来年度の土曜日利用/延長利用の申請について

毎年2月中旬に次年度の申請手続きを行います。現在ご利用の方に次年度の申請書をお渡しいたします。土曜日と延長保育を利用できるのは、保護者（両親）が就労の場合のみです。私用の場合のご利用はできません。4月以降、新規でご利用される方は事務所までお声掛け下さい。

- 門の園舎側上部についている鍵をかけると外側から開錠が出来なくなりますので、扉をしめるだけにして下さい。

- 降園の際、門横のロックを外すボタンは大人が押して下さい。安全対策のため宜しくお願い致します。

- 生活発表会の実施方法に関しては、別紙にてご案内した通りです。緊急事態宣言の解除/実施を受けた時点で掲示と一斉メールにてお知らせいたします。

February 2 2021						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	1	2 節分の会	3 運動あそび	4 音楽あそび 0歳児健診	5	6
7	8 発育測定	9	10	11 建国記念日	12	13 生活発表会
14	15	16 運動あそび	17	18 音楽あそび 0歳児健診	19	20
21	22	23 天皇誕生日	24	25 音楽あそび 避難訓練	26	27
28						

※年間計画表に記載してありました9日運動あそびは生活発表前の為、中止いたします。

## 成長の通過点 ～プロセスから見る子どもの育ち～



園長 山田寿江

今年度の行事がコロナ禍で開催や内容の変更を余儀なくされています。節分のように伝統文化としての行事もありますが、運動会やアート展、生活発表会は、子どもの表現や成長をみんなで共有する機会でもあります。

**生活発表会**も本来ならば、家族の方とお子さんの成長の喜び合う場となるはずでしたが、通常の観覧が難しい状況です。子ども達は、日頃から取り組んでいる姿を披露することを楽しみにしています。発表を通して、それぞれの成長を分かち合えるよう手立てを講じています。主役である子ども達が、それぞれの表現する力をのびのびと発揮できることを一番に考えておりますので、どうぞご理解下さい。

今月の園だよりでは、生活発表会へ向けてのプロセスを紹介しています。どんな時も子どもが主人公、歌や劇など日々の遊びからつながった活動です。幼児は、子ども達の発想やクラス全体としての取組みとしてもご注目下さい。目には見えない友だちとの関係性も育まれています。

「ウィズコロナ」の生活は続いています。可能な限りの感染予防対策をとっていますが、いつ誰が感染するか予測はできません。発症時は、感染者が誹謗中傷の対象となることがないように、詮索など差別につながる行為は控えて頂くようあらかじめお願い致します。

### 子どもから教えられたこと

「でんぐり返し、できるようになった」と、嬉しそうなKちゃん。マットを出すとHちゃんも来て一緒に前転を始めました。何回か繰り返して満足した様子だったのでマットを片づけると、「もっと!」とリクエストがあり、「じゃ、もう1回だけね」と言うと、「やった～」とHちゃん。困ったな～と思い、「それじゃ先生も、やった～」と返して去ろうとすると、Kちゃんが近づいて来て「じゃあおうちでやる」と言ったのです。

Hちゃんの「やりたい」という案に、「1回」と提案し、拒絶されシャットアウトしたところ、Kちゃんは、「家でやる」という案を生み出してきたのです。第三の新たな提案に感心すると共に、他に方法はなかったかなあ?と考えてみました。1回と決めず「あと何回やる?」と、子どもと回数を決めても良かったかもしれません。あるいは、子どもがマットに乗って移動させるマットタクシーでおしまいにする案なら受け入れてもらえたかも…。

### それでもいいよ ～大人を受け入れる子どもたち～

子どもと保育者が織りなす日々の営みの一場面です。正解があるわけではなく、答えは子どもと見つけていきます。保育や子育ての楽しさでもあり難しさでもあります。上手いかななくても、大丈夫。それで関係が壊れることはありません。基盤は、愛情による大人との信頼です。マスクの顔をじ～っと見つめる赤ちゃんの目は、信頼という見えない心を見透かしているかのようです。

近隣のレストランの方から大きなガラスのお皿を頂きました。たくさんの方がこのお皿を囲み、楽しい会話をしながら器にもられたご馳走を味わったことでしょう。



レストランのオーナーは「思い出のお皿だから処分するのではなく、保育園で使ってくれて嬉しい」と言ってくれました。さっそく、色水を入れたり、花びらを入れたりしながら遊んでいます。七草の日には屋上園庭のハーブを並べ七草作りごっこをしていました。

お皿としてだけではなく子ども達の手によってキャンバスにもなりました。これからもたくさんのアートがこのお皿と共に生まれることでしょう。



このお花をギュッとやると良い匂いになるんだよ！



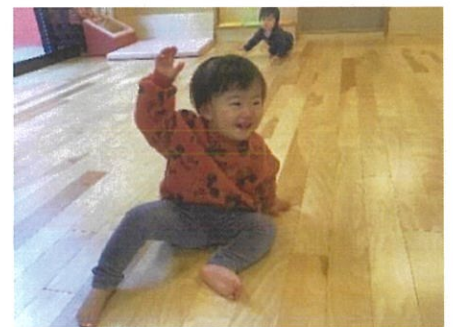
一昨年、保護者の方の知り合いの印刷所からお絵描きを使う紙をたくさん頂きました。子ども達が毎日のように描いてきた紙です。先日ついに無くなってしまい、問い合わせたところ4月頃に再び寄贈して頂けることとなりました。コロナ禍の中でも地域の方々に支えられ、子ども達にたくさんの愛情をいただいていることに感謝の気持ちでいっぱいです。主任：黒木



♪音が鳴ってたのしいな！

0歳アト組には鈴や太鼓、マラカスなどの玩具の楽器があります。最初、子ども達に見せてみると“なんだろう？”という表情を見せながらも興味津々で近付いて来ました。手にしてみると“シャンシャンシャン”“トントントン”“シャカシャカシャカ”。それぞれにいろいろな音が鳴って、不思議そうに目を丸くする子ども達でしたが、次の瞬間、思わず笑顔に・・・。「この玩具、たのしい！」とでも言っているかのように手に持ちながら、たくさん振ってみたり叩いてみたり、とても喜んでいました。今では歌や曲が始まると、それに合わせて保育者やお友達と一緒に鳴らして、嬉しそうに遊んでいます。楽器が大好きな子ども達です。

元気におへんじ「はい！」



自分の名前がはっきりと分かるようになった子ども達。

ちょっと恥ずかしくて照れながら はにかむ時もありますが、保育者が「〇〇 〇〇さん」とおなまえを呼ぶと手をしっかりと挙げて、元気に「はい！」とお返事。その姿を見ると何とも微笑ましく可愛いのですが、成長を感じて頼もしくさえ思えます。

## ♪ピアノにあわせて“ねんね”“チャチャチャ”



“ねんね”の曲が聴こえてくると、覚えている子は保育者より先にすぐに寝転がり始めます。ほかの子ども達も真似をして床にゴロン・・・みんなで“おやすみ～”。気持ち良さそうに目をつぶって大の字になって横になる子もいて、あまりの可愛さに笑ってしまうほど・・・。

“おきよう”の曲で目覚めるまで、そのままじーっとしています。



♪おもちゃのチャチャチャ♪の前奏が始まると、リズムに合わせて足を曲げ伸ばしたり、身体を揺らしたり、嬉しそうな笑顔がいっぱいです。手をたたいたり、玩具の鈴を手に持ちながら振ったり、思い思い自由にリズム遊びを楽しんでいます。

普段の生活でも様々な曲を取り入れて、歌ったり踊ったり・・・その姿をそのまま生活発表会でお見せできたらいいなあ、と思っています。本番は、緊張して固まってしまう子、泣いてしまう子もいるかもしれませんが、それもありのままの姿。頑張る可愛い子ども達、今からとても楽しみです。



今月のうた

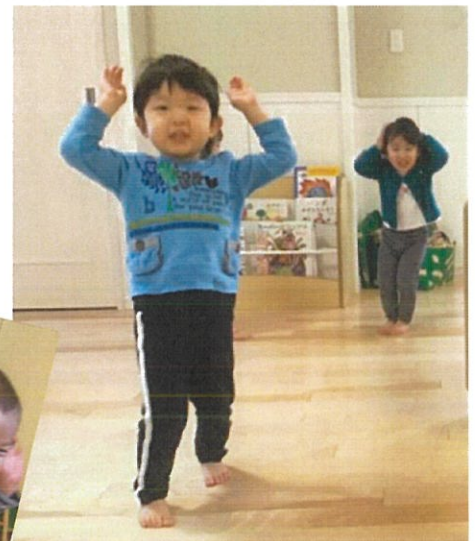
♪まめまき

♪コンコンクシヤンのうた



ピアノのリズムに合わせて様々な動物になることを楽しむ子どもたち。特にトンボのリズムで身体を動かすことが好きで「トンボやりたい」という声が多く挙がっていました。最近では保育者がピアノを運んでいる姿を見ては「カエル!」「おうま!」と子ども達の方から何の動物に変身したいかをリクエストしてくれてくれるんですよ。

何のリズムが聞こえてくるかはそのときのお楽しみ。子どもたちはそのピアノの音に期待を膨らませてピアノの方を見つめ、音が聞こえるとすぐに反応して動物の動きを始めています。保育者が伝えなくても自分で音やリズムを感じ取って何の動物のリズムなのか考えたり、動物に変身して身体を動かすことを楽しんでいます。



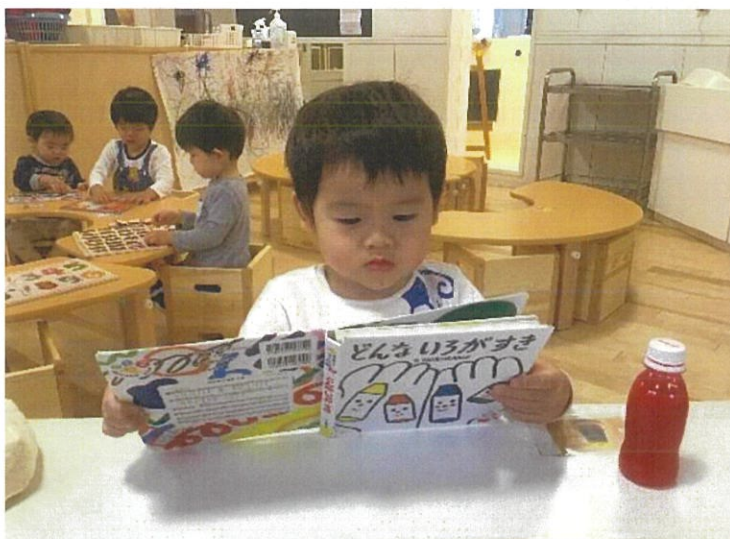
発表会同様にホールに行ってリズム遊びをしてみると、子どもたちは初めて見る舞台に目を輝かせ大興奮でした。舞台の上を歩き、走り、隅から隅まで楽しそうに探索していました。探索遊びに満足するとリズム遊びに参加していましたよ。舞台上で遊びたい、でも大好きなリズム遊びもしたいという子どもたちの揺れ動く気持ちが見られました。本番はどうなるのか楽しみです。



「どんな色が好き」という歌が大好きで、お部屋の中に入るとよくこの歌が聞こえてきます。一人で歌って楽しんでいる子もいれば、保育者が歌っているところに「あか」「あお」と好きな色を言って楽しんでいます。Kくんは「あおー」と言いながら青色のフラフープを見せてくれました。“青が好き”という気持ちが保育者に伝わるととっても満足そうな表情をするKくんでした。



「どんな色が好き」はこんな場面でも…。絵の具遊びの準備を始めた保育者が歌い始めると「あか！」「あお！」と何色で遊ぶかを自分たちで選んでいたのです。子どもたちのリクエストに応じて絵の具遊びを始め、手形をペタペタとたくさん付けていくと「つぎはみどり？」と次はどんな色が出てくるのか予想していました。たくさん色と出会ってたくさん色を言ったり想像している毎日を楽しく過ごしているアート組の子どもたちでした。



今月のうた  
♪こぎつね  
♪ゆきやこんこ

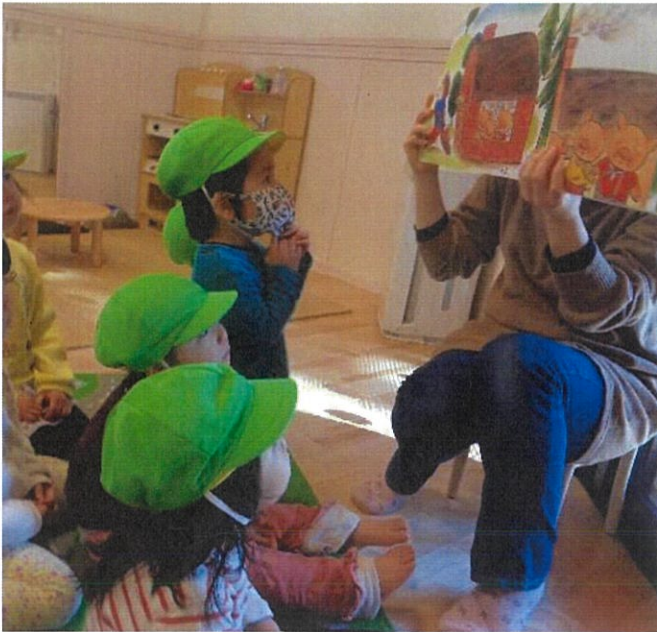




## 三匹のこぶた、どのぶたさんがいい？

今年度ずっと「オオカミ」に夢中になっているピコ組さん。オオカミが出てくるものを見つけると、「見て！オオカミさんいたよ！」と保育者やお友達と一緒にオオカミの存在を楽しんでいます。

絵本コーナーではオオカミが出てくる本がいくつかあります。その中でもみんなが興味を持ったのが「三匹のこぶた」です。手遊びも日ごろ楽しんでいたことから、歌を口ずさみながら絵本を読んだり保育者の真似をしながらお友達に読み聞かせをしてみたり…「どのぶたさんがいい？」と会話をしたり楽しみ方は様々です。

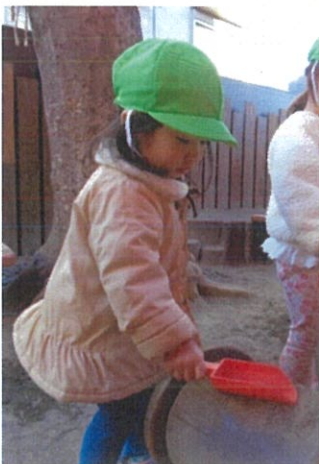


## どんな家たてる？

園庭あそびでは、木の椅子をせっせと運び次々に積み重ねていきます。それに興味を持った他の子ども達も集まってきて、一生懸命積み重ねていきます。何を作っているのかなと見ていると…

「先生みて！レンガのうち作ってるの！」

一生懸命積み重ねていたのは“レンガ”だったのです。そして上手く積み重なってくると、シャベルで砂を運びレンガの家にかけていきます。



「お家に何をかけてるの？」

「これはレンガを丈夫にしてるの！オオカミにふうーってされても吹き飛ばされないように！」

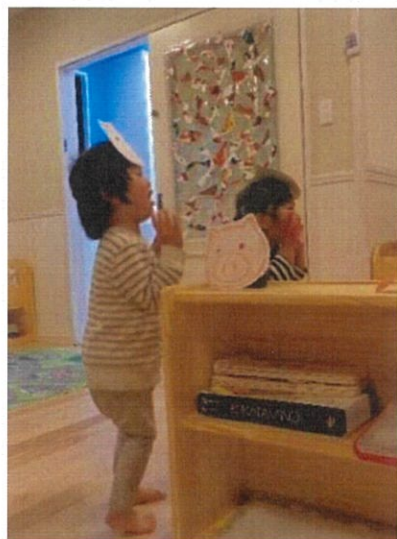
なんとオオカミが来た時のことも考えて砂でレンガの家を丈夫にしていたのです。



みんなで協力してレンガの家を作り、オオカミの存在も意識しながら工夫もして「三匹のこぶた」の世界を楽しんでいました。

## 日常から発表へ

普段の遊びの中でお面をつけて劇遊びを楽しんでいるピコ組さん。  
ある時はブタになりきりお家を建てたり、オオカミになってお家を吹き飛ばしたり、様々な姿になりきり「三匹のこぶた」の世界を表現しています。



「いつもみんながやっている三匹のこぶたをママとパパに見せてあげよう！」と自分がなりたい役を決めて、保育室で舞台上で発表するように取り組んでみました。

「大ぶたちゃん！中ぶたちゃん！ちいぶたちゃん！」と呼ぶと、元気よく「はい！」とお返事が返ってきました。いつもはお集まりの時にピアノに合わせて歌ったり、散歩の道中に歌ったりする歌や手遊び。この時はいつもより声も大きくとても張り切って楽しんでいる様子でした。中にはみんなの張り切った様子にいつもとは違う雰囲気を感じ取り、緊張で涙ぐんでしまう子も…

しかし劇遊びが終わると「ママにも見せてあげる！」とやる気満々です。

去年とは違い「誰かに見せる」を少しずつ理解してきたピコ組さん。わくわくと緊張を感じながら本番も元気な「三匹のこぶた」を披露できるのを楽しみにしています！

今月のうた

♪豆まき

♪こんこんくしゃんのうた



## なんでもかぶ！どこにでもかぶ！

今、3歳ナノ組の子ども達が夢中になっているのが大きなかぶごっこ。生活発表会に向け、絵本の読み聞かせをきっかけに劇あそびにまで発展しています。

物語に合わせた歌もあつという間に覚え、あそびの中やふとしたときに口ずさんでいる姿がなんとも可愛らしいです。

子ども達は、いたるところでかぶを発見します。

絵本コーナーから大きなかぶの絵本を手にとったSさんとIさん。歌をうたいながらじつくりと読み込んだ後、ふたりは保育者の元へ行き「かぶやって！」とリクエスト。

ふたりで力を合わせてかぶ役の保育者をうんとこしょと、引っ張っていました。Iさんは、ほっかむりにスカートと、絵本に登場する孫の姿も忠実に再現しています。

みんなで手を繋いで、保育者がいくら引っ張っても抜けないかぶになったり、「かぶだー！」と散歩先の公園で地面から生える枝をかぶに見立てたこともありました。かぶを引っこ抜こうと奮闘している友達の様子に気付いて、「手伝ってあげるよ」と少しずつ友達が集まっていきました。



## 「わたしがねずみー！」

お集りで、おはなし組木の“大きなかぶ”を観ました。子ども自身でも組木に触れて遊んでみました。それぞれの登場人物は1個ずつしかありません。「わたしがねずみー！」「カーレーー」と、役を巡ってけんかもありましたが、順番にやったり他の役もやってみたり、マイクの担当になったりしていました。友達と一緒にあそぶことを通して相手の気持ちを受け止めたり譲ったりと、思いやりながら遊んでいました。



## イメージして

“大きなかぶ”の絵本を読み聞かせていたときのエピソードをひとつ紹介します。

保育者「全然かぶ抜けないけれど…おじいさんどんな気持ちかなあ」

子ども「疲れちゃってる」「汗かいてる」「悲しいんじゃない」「あきらめちゃだめ〜！」

保育者「やっとかぶが抜けたよ！」

子ども「ばんざーい！」

登場人物の感情をイメージして、絵本にないセリフや描写を子ども達が代弁してくれました。

他にも、大きなかぶごっこで子ども達は色々なことに想像力をはたらかせました。

役決めの際は、迷わず手を挙げて即決する子、じっくり悩んだ子…決めるまでの子どもの姿は様々でしたが、みんな自分が何になりきるかを頭の中でイメージして子ども自身が選んで決めました。

セリフや踊りも、保育者がきっかけを提示することであとは子どものイメージを引き出して、それを実際に劇での動きに取り入れています。

大きなかぶの劇あそびを通じ、想像力が育まれ、自分以外の人のお気持ちに寄り添う子ども達の成長した姿が嬉しかったです。

絵本から始まり、友達や保育者とたくさんイメージを共有して楽しんだ大きなかぶごっこ。ぜひ当日の子ども達の姿を楽しみにしててください！



今月のうた

♪鬼のパンツ

♪ハッピーチルドレン



## どんな劇にする？

「あおむしやったよね。」「そうそう〜。」 昨年の劇を思い出すと、「4歳ではもっと上手にやりたい！」  
「いっぱい練習したい。」とやる気スイッチが入りました。最近読んだ『おむすびころりん』が気に入ったようで、「おむすびころりん、やる〜！」と意見が一致しました。

Tくんが前に出て「みんなで頑張る。」と言ったことをきっかけに、次々にアイデアが出ました。  
「歌はみんなで歌う。」「猫とネズミの鳴き声をまねる。」「もちつきの歌をつくる。」「お話の続きを作る。」「舞台の階段も使う。」「せーので歌う。」「おむすびを作る。」「ねずみもつくる。」「坂を転がる。」・・・友だちのアイデアに「イイね！」と共感し、一緒に劇を作りたいという気持ちが膨らみました。

## ほぼ ねずみ！

『おむすびころりん』で、どの役を希望するか聞いてみました。なんと、ねずみ希望が多いこと！  
いじわるじいさんの希望者はいません。すると「いじわるじいさんは先生がやって〜。」と、子どもたちがにんまり。「そんなぁ〜。」と苦笑いの担任にどっと笑いが起こります。優しいおじいさんおばあさん役のAさんとKくんが二役引き受けてくれました。「ぼくは楽器をやるよ。」とKくんとAくんも立候補！役決めの段階でも既に楽しい4歳ナノ組でした。



## 良いこと思いついた！

音楽遊びで『もちつき』の歌をうたいました。すると、「良いこと思いついた。」とTさんがひらめきました。「お餅を作るところはこの歌にしない？」もちつき会で本物のもちつきを体験したので、餅つきのイメージはバッチリ！「ぺったんぺったん…」と歌いながら友だちとタイミングを合わせるのが楽しいようです。

## ねずみの耳つくろうよ！



ねずみの耳を作りたくなった子どもたちがどうやって作ろうか相談していました。Tさんも「やってみないと分からないよ。」と耳作りを始めました。

“まずはやってみる”失敗を学びに変える素晴らしい考えです！自分の頭の大きさに合わせて耳を作り、仕上げに色を塗ったりリボンを付けたりすると個性豊かなねずみの耳が完成！

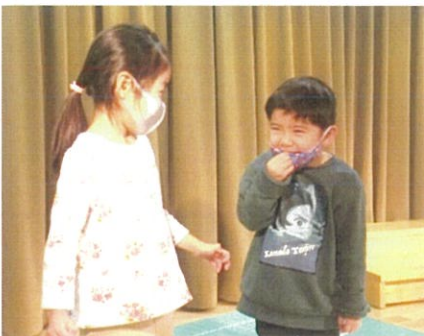
「段ボールで草を作ろうよ。」Aくんのひらめきにも「イイね～」と大賛成です。



## おむすび頑張り～！

サーキット運動や劇遊びで前転に挑戦しています。はじめは腕に力が入らず、ふにゃっと崩れたり頭のとっぺんで突っ張ったりすることがありました。「腕を伸ばして頭を中に入れると良いよ。」保育者のアドバイスを聞いて、それと地面を蹴ると…くるんっと回る姿はまさにおむすび！楽器担当の2人も友だちの動きを見逃さないように真剣です。

舞台稽古の初日におじいさん役がセリフを言うのをためらっていると、「初めてだもの、恥ずかしいよね。」とSさん。すると、「がんばれー！」とネズミたちが声援を送ってくれました。終わってから「劇の練習はどうだった？」と聞いてみると、「楽しかった～！」と子どもたち。「次は恥ずかしがらないでやるね。」「餅つきをもっと上手にやるね。」と振り返っている姿から劇への意欲が伝わってきました。幕開けの手伝いや小道具の準備なども子どもたちが進んでいき、クラスが一体となって取り組んでいます。「やってみないとわからないよ」をどんどん実践している4歳ナノ組です！



## 今月の歌

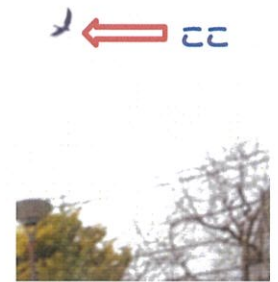
にじ  
にんげんっていいな



## カラスプロジェクトからはじまる！？

公園でのカラスのいっけんからカラスプロジェクトが始まり公園や屋上に行きハシボソカラスやハシブトカラスの見分け方、鳴き声がすると「これは仲間を呼んでいるよ」「なんか怒ってる？」と飛び方や鳴き方でカラスの気持ちが変わってきたとの事。現実には違うかもしれませんが、一つのものに興味を持つと、納得できるまで調べていく子ども達。ある日、屋上でカラスが同じ方向に帰っていくのを見たA君。次の日も待ち合わせをして帰っていくのを見たとき、...同じように観察をしていたB君と鳴きまねをして仲間になろう！と「カアカア」と鳴くと次々とカラスが近くに来るではありませんか！興味があるとはいえ近くに来ると黒くて大きいカラス=怖い！！

しかし、怖いと思っていたのもつかの間、カラスの生態について本を読んだり、絵本を読んだりしていると、いつの間にか大人の知識よりも詳しくなっていました、...

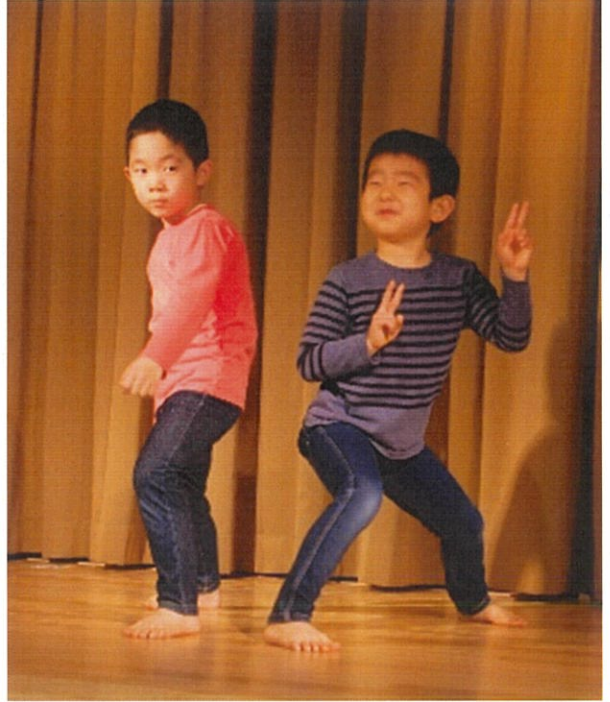


## からすも良いけど、今年の発表会どうしよう？

さてさて前置きが長くなりました。カラスプロジェクトはまた別の機会にお話ししますね。今年の発表会はどんな劇にしようかと考えていたら、様々な案を出してくれた子ども達。「やっぱり今年はカラスだよ」と何ともアバウトなヒント。“カラスが主役の物語”と検索すると【からすのパン屋さん】が出てきたので読んだけれど何だか納得いかない表情。次に出てきた【おしゃれからす】を読むと「羽をどのようにして集めたのか」「おしゃれな鳥？」など、もう決定したかのように話し合いが進んでいました。



ナノ5歳の子ども達は、進みだしたら行動が早い！さて自分だったらどんな役が良いかセリフはどうするかなど保育士とともに話し合いながら進めていきました。そんな中、印象に残ったのはM君の【題名はカラスだけど主役は自分なんだ！って思いながらやると大きな声が出るし恥ずかしくないよ】と友だちに伝える姿です。なぜそう思ったのか聞くと、あすなろ組の時にみんなが力を合わせて元気よく歌ったりセリフを言ったりしたら勇気が出たからと。今までの経験で自信が持てたことが友だちへの関心へとつながり、目的を共有して進めることで話す楽しさを知りました。話し合う経験を生活の中で十分に重ねていったからこそ出る自信なのではないかと感じました。最後の発表会を無事出来ることを願っています。



### ぼよよんととんでみよう！

去年は“♪バンバンバンバン”  
 今年は“♪ぼよよん”担任の趣味だと思っている方...  
 はい正解です！！  
 この曲を聴くと自然に笑顔になるので、子どもたちにリクエストさせてもらいました。  
 少し難しいかな？と思いましたが、練習をしているうちに上達している姿を見ると何故か笑顔と共に涙が...。この曲を様々な活動の場面で流すと知らない間に歌って踊っている子ども達。見ている私たちが元気をもらいました。どうぞお楽しみに♪



今月のうた

♪ぼよよん行進曲  
 ♪キラキラキラ  
 ♪ありがとうこころをこめて



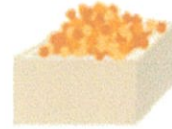
# 食育だより

2021年2月

2月3日は立春です。節分を過ぎるともう「春」と言われます。まだまだ寒い季節が続きますね。暖かくなったり、寒くなったり「三寒四温」を過ぎて、少しずつ近づいていきます。季節の変わり目には体調を崩しやすいです。朝食をしっかり摂り、温かい汁などで体を温め一日を元気にスタートさせましょう。



## 2月2日は節分です ～節分行事～



### 福を呼ぶ豆まき

日本には春夏秋冬の四季があります。暦の上ではそれぞれ季節が始まる日を立春・立夏・立秋・立冬といい、これらの前日を「節分」といいます。春は立春から新しい季節が始まっていたため、立春前の節分は大切な節目とされていました。節分の豆まきは新年に福を呼び込み、「邪気=鬼」を払うために行われています。昔から「夏=魔滅」には鬼を滅ぼす力があるとされてきました。

※節分の豆は子どもにとって誤嚥しやすい食品の1つです。豆まきをした後は、小さな子どもが拾って口に入れないように、豆の後片付けを徹底しましょう。特に小さな乳幼児のいるご家庭は注意が必要です。

### 恵方巻

恵方巻は節分の夜に、その年の縁起の良い方向「絵方」を向き、無言で食べる縁起物の太巻きのことです。今年は南南東が恵方となります。1本丸ごと食べるのは、「縁を切らないように」の意味があり、無言で食べるのは、食べ終わる前にしゃべると福が逃げるからとされているためです。

もともとは関西弁の風習ですが、最近では全国的にもよく知られているようになってきました。

### 畑のお肉大豆

節分の豆まきに欠かせない「大豆」は昔から日本の食生活になくてはならない食材です。たんぱく質や脂質を多く含んでいることが特徴で「畑のお肉」とも言われています。大豆はそのままでは消化が悪いので煮たり、加工したりして食べられています。

#### ☆大豆に含まれる栄養素☆

- たんぱく質…体をつくる
- イソフラボン…骨粗しょう症予防
- 食物繊維…整腸作用

#### <大豆から作られる食品>

納豆



味噌



豆腐



おから



油揚げ



醤油



### 子どもたちに大人気!! 献立紹介 鶏肉のチーズパン粉焼き

【材料】(幼児1人分)

- 鶏もも肉
- マヨネーズ
- 粉チーズ
- パン粉
- 乾燥パセリ
- 油

【作り方】

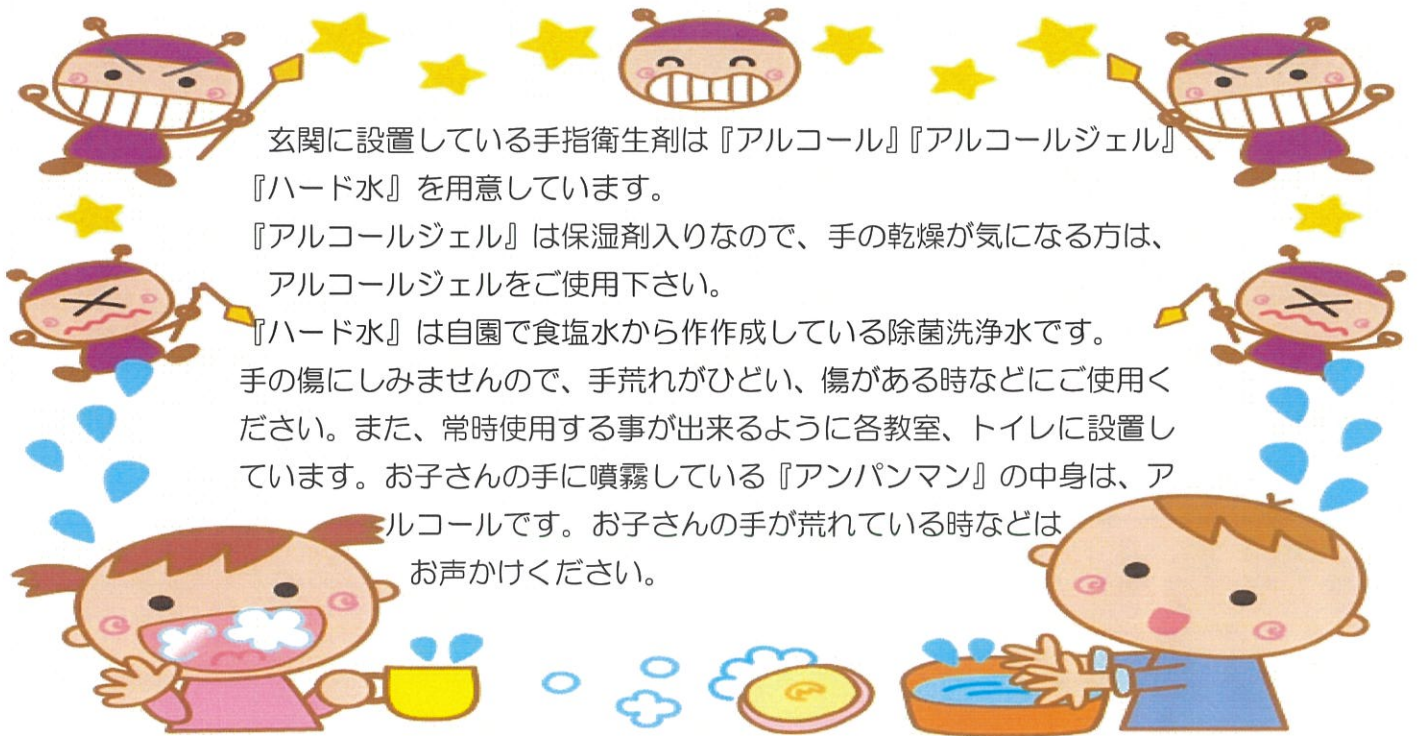
- ①粉チーズ、パン粉、乾燥パセリを混ぜておく
- ②鶏もも肉にマヨネーズを揉み込む
- ③①を②にまぶす
- ④フライパンに油を熱し、③を焼く





## 2がつのほけんだより

登園児の検温と手指衛生にご協力ありがとうございます。風邪が流行っています。軽く済むことも多いのですが油断をすると悪化して、中耳炎、肺炎気管支炎など様々な病気を併発することもあります。体調が悪い時は無理をせず、安静を心掛け長引かせないようにしましょう。



玄関に設置している手指衛生剤は『アルコール』『アルコールジェル』『ハード水』を用意しています。

『アルコールジェル』は保湿剤入りなので、手の乾燥が気になる方は、アルコールジェルをご使用下さい。

『ハード水』は自園で食塩水から作成している除菌洗浄水です。

手の傷にしみませんので、手荒れがひどい、傷がある時などにご使用ください。また、常時使用する事が出来るように各教室、トイレに設置しています。お子さんの手に噴霧している『アンパンマン』の中身は、アルコールです。お子さんの手が荒れている時などはお声かけください。

### どんなマスクが効果的？

#### 不織布製 > 布製 > ウレタン製

不織マスクが感染予防には効果があります。しかし、通気性が悪い為、肌が弱い人には向いてません。使い捨てが原則なので、繰り返し使える布製、ウレタンに比べコストがかかります。

体質や利用場面等、総合的に判断して選ぶのが良いでしょう。

鼻が出ている、あごにかけてるお子さんがいます。正しい方法でマスクを使用しなければ感染防止になりません。登園時にはきちんとマスクを着けられているかチェックしてください。

### 今月の予定

発育測定

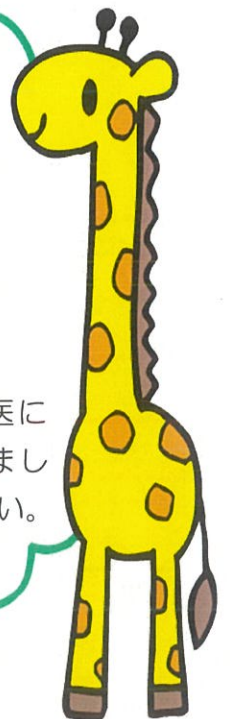
2月8日(月)

0歳児健診

2月4日(木)

18日(木)

ご心配な事や園医に聞きたい等ありましたらお知らせ下さい。



『なぜ子どもは遊ぶのでしょうか。～略～ 子どもは遊びが好きだから遊ぶのだと、ほとんどの人は言うでしょう。このことは否定できません。子どもは身体的、情緒的にあらゆる種類の遊びを楽しみます。私たちは遊びの材料や思いつきを与えることで、子どもたちの遊びの体験の幅を広げてあげられるのです。しかしこれらは、あまりにも多く与えすぎるよりも、むしろ少なすぎる方がよいように思われます。子どもたちは、対象物を見つけ、いとも簡単に遊びを工夫します。それはそうすることを楽しむことができるからです。』\*

## 「子どもとあそび く大きな紙で」



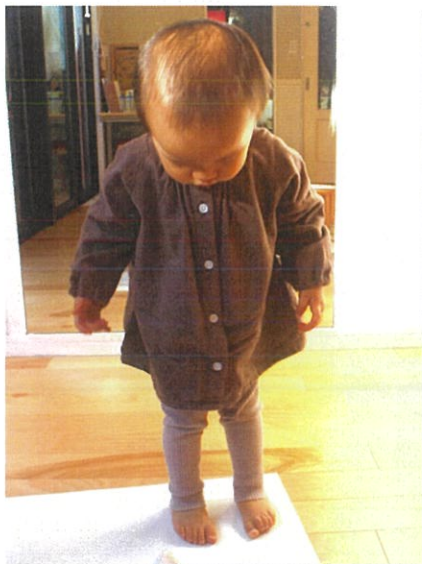
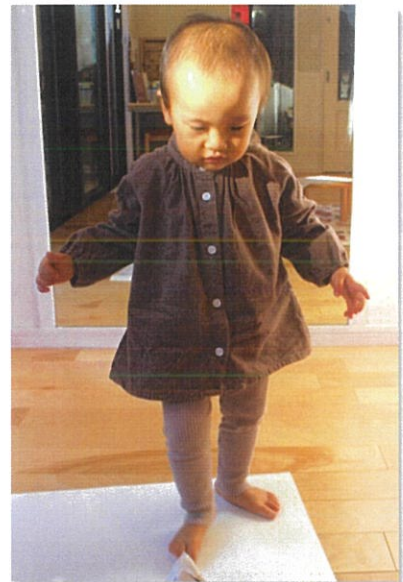
先日、大きな紙をいただきました

た。A0（ゼロ）サイズの大きなポスターは、裏面が真っ白で縦の長さは子どもの背丈ほどあります。

数日後、私はその大きな紙を持ち0歳アート組に行きました。比較的早い時間だったこともあり登園している子の数も少なく、陽射しが差し込む部屋はいつも以上に広々とした感じでした。

私はその大きな紙を何も無い床に広げました。すると側にいたMさんが紙に気付きました。私は「さあ、どうするかな？」とMさんの様子を見守りました。

Mさんは、先ず大きな紙の端を持ち上げてみます。表に描かれている絵を見ると、今度は立ちあがりその紙の上におそるおそる足を乗せてみます。とても慎重に、ゆっくりと上がります。



じっと紙を見下ろしながら、様子を伺っているようです。乗ってみても、どうやら紙はピクリともしません。すると紙の上で足をスリスリして、手触りならぬ足触りを確かめています。

『遊びの材料や思いつきを与えることで、子どもたちの遊びの体験の幅を広げてあげられるのです。しかしこれらは、あまりにも多く与えすぎるよりも、むしろ少なすぎる方がよいように思われま  
す。』\*

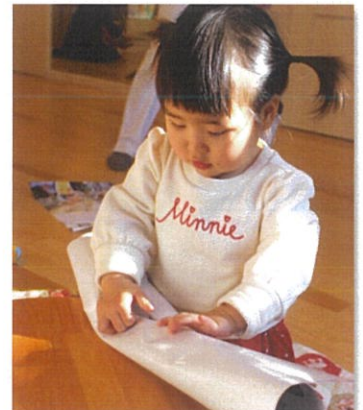
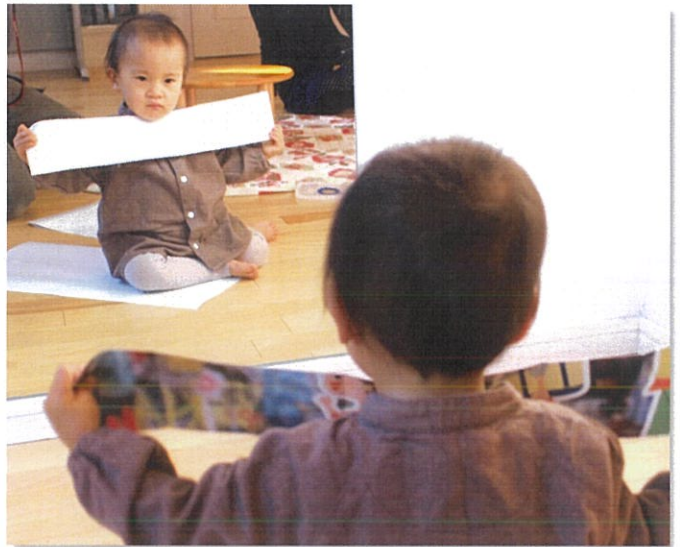
私はもう一枚あった大きな紙を細長くなるように三つに切り、一枚はそのまま、一枚はクシャクシャに丸め、もう一枚はくるくる巻いて置いてみました。すると…

Mさんは細長い紙を手に取り、その紙との対話（もちろんノンバーバルな言葉を使わないコミュニケーション）を始めました。私も関わりは最低限にとどめ、Mさんの心の中から湧き上がっているであろう気持ちに思いを寄せます。



横に「鏡」がある事に気がきます。

おやおや、（あくまでも、私から見ると）素敵なファッションショーが始まりましたよ。



Mさんは、かなり長い時間「紙との対話」を続けていました。便りの紙面の関係で限られた場面しかご覧いただけずとても残念に思います。しかしこの「あそび」がとても楽しかったことは、Mさんの表情やその後に登園してきた子ども達が次々とこの活動に加わったことから分かります。

私たち大人は子ども達が楽しめるようにと、より良い「玩具」を与えようと考えます。その中で、この日のMさんや0歳アート組の子ども達の姿は、私の思いを一旦立ち止まらせると同時に、改めて子どもが生まれながらに持つ豊かな感性と探究心の可能性をハッキリと見せてくれました。（文責：一然）

\*D・W・ウィニコット 子どもと家族とまわりの世界「子どもはなぜあそぶの」より



